

ひかり苑 広報誌 もみの木

令和5年夏号

副施設長挨拶

青空に入道雲の湧きあがる季節となりました。皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。ひかり苑では熱中症や感染症対策を継続しながら、安心・安全な施設を目指し日々取り組んでいます。

ひかり苑では、5月28日に約3年振りとなる家族会を開催いたしました。コロナ禍でご家族の皆様と直接お話出来る機会がほとんどなかった3年間ではありますが、実際にお顔を拝見しながらお話出来ることは、職員の私達にとっても喜びでした。家族会では、面会についてご家族からの切実なご希望を伺う場面もありました。その後、コロナウイルス感染症が5類へと移行したことも踏まえ、6月には面会の回数や方法について見直しを行い、以前に比べ若干柔軟な対応となるよう変更しました。今後も基本的な感染症対策を踏まえながら、ご利用者とご家族が大切な時間を少しでも長く快適にお過ごしいただけるよう、これからも施設全体で環境整備やケアの在り方を考えていきたいと思っております。

7月には夕涼み会も予定通り行いました。ご利用者の楽しそうな笑顔は職員にとっても癒しのひと時となりました。少しずつではありますが、感染症対策を踏まえながら規模を拡大した行事を行う等、ご利用者に喜んでいただける機会を増やしていきます。ゆくゆくはコロナ以前と同じようにご家族にも一緒に楽しんでいただける行事が出来ることも目標にしながら、ひかり苑は職員一丸となって努力してまいります。

この夏も健康に乗り越えていけるよう、皆さまどうぞご自愛ください。

副施設長 浅見友博



端午の節句

4月の終わりごろから中庭には「鯉のぼり」を泳がせており、廊下の窓からは元気な姿の鯉のぼりが良く見えました。5月3日からは菖蒲を湯舟に浮かべ菖蒲湯を「懐かしい香りだ」などと楽しんで頂けました。5月5日のこどもの日当日には鯉の形をした和菓子を「美味しいね」「鯉の形だから、なんだか食べにくいね」と、近くの方とお話しながら召し上がり、喜んで頂けたかと思っております。

コロナによるクラスター発生で、様々な制限がかけられ楽しみが少なかった後の今回の行事だったので、微力ながら楽しんで頂けたかと思っております。



相談員だより

コロナウイルスという、聞き馴染みのない言葉が毎日のようにニュースで溢れ返るようになってから三年が経ちました。このコロナ禍の三年間は、あっという間に過ぎてしまったようにも感じますが、大切な方に自由に会う事が出来ない三年間は、ご利用者、ご家族の皆様におかれましては長く、淋しい日々であったかと思えます。

5月には、コロナウイルス感染症が5類へ移行されましたが、ご利用者の生活を支える場所としては、コロナ禍前と同様の生活に戻るにはもう少し時間が必要になるのではないかと感じてしまいます。とはいえ、希望のある明るい未来を目指していきたいものです。『新しい日常』をお届け出来ますように、試行錯誤を重ねながら日々努めさせて頂きたいと思えます。

『見つけよう何気ない幸せ ありふれた日々の中で』あるアーティストの歌詞のワンフレーズです。このフレーズを聞いた時、日常の中にある何気ない幸せに気付ける、何気ない日常が幸せに感じられる自分でありたいなと思えました。世の中はコロナだけでなく、争い事が絶えなかったり、自然災害に苦しめられたり、辛い出来事は沢山あります。そんな中で、今ここで、美味しいご飯を食べたり親しい人と笑い合えたりする事が出来る事は、幸せな事なのだと感じさせられました。ひかり苑は、ご利用者にとっての日常の生活の場です。その中で、ご利用者の皆様に幸せを感じて頂ける、そんな日々を送って頂ける場でありたいと思っています。

訪問衣料販売

夏に向けて、訪問衣料販売会を行いました。直接服を見て、「これは派手かね?」「こっちの方が、に合うのかしら…」等職員と話をしながら、大変楽しそうにお買い物をしていました。直接行けなかった方に関しては、職員がその人に似合いそうな洋服を選びました。皆様それぞれ、とても楽しんでいたので印象的でした。

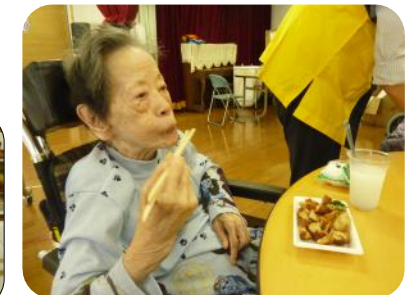


今年の七夕では、昨年同様に天井から飾りを吊るし、天の川にみえるように装飾を行いました。星形の風船や、折り紙で作った提灯飾りなどが、食堂に風が吹くとゆらゆらと揺れてとても涼しげな雰囲気になり、いつもの食堂がとても華やかになったのではないのでしょうか。ご利用者の皆様は様々な飾りに目をキラキラとさせながら天井を見上げ、にこやかに「綺麗ねー。すごいわ。」と仰っていました。当日は音楽を流し素敵な七夕の日を過ごしていただけたと思います。

思いを込めて書いた短冊の願い事が叶いますように。



7/27(木)に毎年恒例の夕涼み会を開催しました。ここ数年コロナ禍の中で様々な生活様式が変わる中、今年は規模を縮小してですが無事開催することができました。ひかり苑最高齢の女性入居者は100歳になられる方です。毎年夕涼み会でビールを飲まれるのを楽しみにされており当日「夕涼み会でビールが出ますよ。」と言うとお顔を挙げ目を輝かせ、きりりとされます。(お家では一番の酒豪でいらしたそうです。)「もう一杯ビールおかわり!」他の入居者様からも笑顔で大きな声が飛び交い、大事に懐かしのヨーヨーや駄菓子を胸に抱きしめられ、終始笑顔で無事参加頂きました。



家族会の様子



ご利用者紹介



奥村 千枝子様

令和5年1月13日に入所されました。穏やかな性格で世話好きなので、職員がお手伝いをお願いすると快く手伝ってくださいます。お話しするのもお好きな様で、職員に若い頃の出来事や仕事をされていた頃のお話をして下さります。

これからもひかり苑での生活を楽しく過ごしていただきたいと思っています。



米山 定夫様

令和5年2月6日に入所されました。入所当時から明るく朗らかに日々を過ごされ、笑顔の絶える事がありません。職員やほかのご利用者の方からの呼びかけにとっても元気に応答されるのが印象的です。再開された生活リハビリなどにも積極的に笑顔で参加されています。ひかり苑での生活をこれからも楽しんでいただきたいと思います。



泉 芳枝様

令和5年3月2日に入所されました。他のご利用者に対しても職員に対してもとても優しい対応をして下さいます。泉さんはお裁縫がお好きな様で、ひかり苑に入所される前に趣味でコートに洋服、本のカバーなどを作っていたそうです。見せていただいた本のカバーが凄く素敵でした。読書をする事もお好きなようで居室や食堂でよく読書をされています。

これからもひかり苑での生活を楽しんでいただけると幸いです。



8月

- 2日 理美容
- 迎え火
- 3日 お盆法要
- 4日 送り火
- 11日 特別なお食事
- 創作クラブ
- 17日 ホーム喫茶
- 誕生会
- 25・26日 ケアプラン会議



9月

- 6日 理美容
- 8日 特別なお食事
- 創作クラブ
- 17日 敬老会
- 21日 ホーム喫茶
- 誕生会
- 22・23日 ケアプラン会議
- 29日 お月見

編集 発行

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会特別養護老人ホームひかり苑

発行者 施設長 河野 雄太

編集 広報委員会

〒189-0024

東京都東村山市富士見町2-7-40

電話 042-398-1801 FAX 042-398-1804

